



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによつて示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年12月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymca.japan.org/morioka/>

「スキーキャンプの思い出」

佐藤 千夏（盛岡YMCAメンバーOG）

寒い冬がやってきました。だけど私は、外に出かけたいと思えます。22歳になっても、子供のように雪を楽しみにできるのは、幼い頃に楽しい体験ができたからだと感じます。私は、小学生の頃、YMCAの活動に参加していた従妹がきっかけで、一緒に活動に参加するようになりました。サマー・キャンプ、ミステリーツアーなど、様々なキャンプに参加していました。そして、冬休みには5日間ほどかけて、スキーキャンプへ参加しました。

スキーキャンプには、年齢も住む場所も性格もスキー技術もバラバラな、本当に色んな子がいました。そんな楽しそうなキャンプも、私は期待と不安が半々でした。周りの子と仲良くなれるか、スキーをうまく滑られるか…と。しかし、そんな不安を打ち消すくらいリーダーのお兄さんお姉さんは頼もしかった。色んな子に分け隔てなく接してくれ、周りの子と仲良くするきっかけもつくってくれました。スキーがうまいへたも関係ありませんでした。グループ分けによって、技

術が同じくらいの子たちと、楽しみながら滑ることができました。転んでも大丈夫、みんな転ぶから(笑)。キャンプの最後のほうに、スキーテストがあって、1人ずつ滑ったのですが、これは緊張したのを覚えています。でも、だからこそ、上のレベルを目指してスキーができました。みんなと雪で遊んだり、温かいご飯を食べたり、部屋でお話したりと、楽しいことがたくさんありました。学校だけではできない経験、巡り合えない友だち・お兄さんお姉さん、たくさん出会うことができました。

YMCAでの経験は今の私をつくっています。知らない場所へ出かけること、様々な人と交流すること、小学生の時に楽しいと感じたこと、今でもわくわくします。私は来年度から、東北を離れ、社会人になります。不安はありますが、やはり楽しみもあります。どんな出会いが待っているのかな。

11/5 盛岡YMCA理事長 就・退任式



11月5日（土）いわて県民情報交流センター「アイーナ」団体活動室において、盛岡YMCA理事長の就・退任式が開催されました。会は、阿部靖 仙台YMCA前理事長、菅野健仙台YMCA会長をはじめ、盛岡YMCAの関係者31名が出席し、楽しく、和やかな雰囲気で行われました。

石渡隆司前理事長は、学生時代、東北大学YMCAを通じてYMCA運動に関わるようになりました。その後岩手医科大学教養部の教授として盛岡に赴任され医大生に哲学を教授される一方、新幹線の開通により急速に都市化が進む盛岡において青少年の心の荒廃を懸念され、1983年に盛岡YMCAを設立されました。以後今日に到るまで、実に33年の長きにわたり盛岡YMCAを支え育ててこられました。

新しく就任された魚住英昭理事長は石渡前理事長と同じく東北大学YMCAのご出身で、盛岡YMCA創立時の理事でもあります。長年、家庭裁判所の調査官として、青少年、家族に向き合ってこられました。

石渡前理事長が据えられた土台の上に立ち、魚住英昭理事長のリーダーシップの元、盛岡YMCAは青少年、家族、地域の抱える課題に取り組む団体として新たな一歩をスタートしました。



※ 学生YMCA

YMCAの活動の中で特に全国の大学及び学生寮、専門学校を拠点とした学生中心の活動を言います。全国に35のグループがあり、約450名の学生が参加しています。

↑ 魚住理事長（写真左）から石渡前理事長（写真右）へ感謝状が手渡されました。

☆盛岡YMCAチャンピオンズカップ開催☆

11月3日(木・祝)に、「盛岡YMCAチャンピオンズカップ」が行われました。盛岡YMCAのサッカースクールは、盛岡市・滝沢市に6つ、そして宮古市に1つあります。この日は、スクールごとにチームを組み、他のスクールのチームとの試合を行いました。普段はなかなか交流できないそれぞれのチームですが、それぞれの思いがぶつかり合い、白熱した時間となったようです。チャンピオンズカップに参加した、ちょびリーダーより、当日のレポートが届いています。



こんにちは！ ちょびです！！ 今回、初めてチャンピオンズカップに参加させていただきました！ 大会当日の朝、天候はあいにくの雨でグラウンドは大変なことに…。それでも、子どもたちの元気や気合が天に届いて、試合中、午前は曇りで午後からは晴れましたね！！ 宮古のスクールの子どもたちも参戦し、白熱した大会となりました！

チャンピオンズカップはスクールごとにチームを組んで試合を行うため、知っている絆の深いメンバーで勝利を目指します。今まで一緒に練習してきたチームメイトと泣いたり笑ったり、時には作戦をたてながら悩んだりと、年一回の大会ということもあって思い入れの強さを感じました。

試合中は真剣そのもので、グラウンドの状態なんて関係なくどのチームも一生懸命にボールを追いかけ、チームメイトと協力してゴールを決めようとしていました。それだけでなく整列や挨拶も相手よりも立派にやろう！という声かけがたくさん聞かれて、行動のひとつひとつがとても早く、熱かったです。チームごとに食べる昼食ですら、声をだそう！と言っているチームがあるほど

でした。

試合後に「泥だらけだ！！ それだけ全力で頑張った証だね！！」と笑いあう姿も（笑）本当にその通りで、何回転んでもすぐに立ち上がり最後までプレーを続ける姿、声がかれても声を出し続ける姿、なんとも言葉にできないものがこみ上げてきました！！

今回の大会は試合を行うので”相手”はいましたが、いろいろな場面で協力や思いやりが見られ、”敵”はいませんでした。サッカーは一人ではできない、同じサッカーをしている”仲間”を大切にするという素晴らしさを感じさせてくれた子どもたちに本当に感謝です。

また子どもたちはもちろんのこと、リーダーたちも熱くなったりこの大会。それぞれの思いが一年後の大会でどんな結果を生み出すのか、とても楽しみです！これからもみんなと一緒に楽しくサッカーしたい！！ 心からそう思える大会でした！！

岩手県立大学1年 早坂 知美（ちょびリーダー）



← グラウンドに響きました。
選手宣誓！
凛々しい声。



男の子も女の子も、子ども
もリーダーたちも、めいっ
ぱいサッカーを楽しみまし
た！



みんなどろんこになりなりました！ ←

→ ボールを追いかける姿はキ
ラ輝いています。



→ どちらは高学年の部の優
勝チーム。喜びのあまり、写
真がややブレ気味です。



→ こちらは中学年の部の
優勝チーム！ みんな、い
い表情していますね！



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 11月報告書

1. 盛岡YMCAチャンピオンズカップに参加！

11月3日に行われたチャンピオンズカップに、宮古のチームも出場しました！普段から宮古サッカースクールの活動をずっと見守ってきた、サトちゃんリーダー（ジーパンリーダー）こと向平悟さんより、当日のレポートが届いています。



朝早くの集合にも関わらず、選手たちは元気いっぱい宮古駅に集合しました。中には半袖や半ズボンで集合する選手も…。2時間もの移動のバスの中では色々なゲームをして遊びながら盛岡へ向かいました。

予定よりも相当早くついたため、準備が出来次第、タイムスケジュールにはなかった練習試合を盛岡のスクールとしました。特に緊張も感じられず、大きな声での体操、負けないという気持ちをもったプレー。本来予定のなかった午前の内容としてはすごく良かったと思います。

お昼を食べ、いざ出陣！！人数が多くなったこともあり、3チームでの出場となりました。それぞれ3チームが別々に戦うではなく、互いに支え、応援し、自分が出場していなくても気持ちを1つに戦いました。バスの中でもどのように大会へ臨むかを話し、勝つことや点を取るなど目に見える目標ではなく、どこのチームよりも宮古は元気で楽しくサッカーしているんだぞ！というのを普段会えない盛岡に見せつけてやろうというのが目標でした。決勝トーナメント1回戦、2回戦と宮古のチームが負けてしましましたが、残りの1チームが決勝へ進み、試合前には宮古から観に来てくれたお父さんお母さんたち、リーダー、選手が全員で円陣を組み、全員で挑みました。

その結果、優勝することができました。悔し涙、嬉し涙、喜びや感動など沢山の感情をリーダーたちは感じ、これは普段から頑張っている選手や、普段なかなか子どもたちがサッカーしているところを観ることのできないお父さんお母さんたちも感じたと思います。チャンピオンズカップが終わり、サッカースクールはまた進み始めました。残念ながら行けなかった子たちもいましたが、1週間で1時間しかないサッカースクールの時間を来てくれているみんなでもっともっと楽しい時間にしていこうとしています！1人ではできないサッカーというスポーツを通じて沢山笑い、つまずきながら強くなっているこうだと思います！

チャンピオンズカップは宮古のスクールにとって1年に1度しかないとても貴重な盛岡のスクールとの交流です。このつながりを絶やさず元気いっぱいの宮古は強くなっていますよー！！！

社会人リーダー 向平 悟（サトちゃんリーダー／ジーパンリーダー）



めたのた。ワも、バ宮
でメは、一。一古
どん、見を元がか
うバ低事見氣こら
！一学優せいち集
た年勝つから
ちのをければでて
で部勝ていすく
しにちくなれ
た。出取れ宮盛
場つま吉岡メ
おしたしバでん

2. インターン中間報告会について

11月12日、「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム インターンシップ奨励プログラム」の中間報告会が行われました。盛岡

YMCAでインターン生として活動している2名より、当日の報告が届いています。



11月12日に、永卯ビル「風のアトリエ」にて、インターンシップの中間報告会が行われました。今回は、岩手で活動しているインターンシップ生5名が、それぞれこれまでの活動内容、学んだこと、感じたことを報告しあい、これまでインターン生がどのような活動を行ってきたのかを共有する場となりました。

インターンシップ活動が始まって4ヶ月、初めて他のインター生がどのような活動を行ってきたのかを知ることができた今回の報告会は、自分にとってとても良い刺激になりました。

活動の内容はそれぞれ団体によって大きく違いますが、一人ひとりがこれまでの活動の中でたくさんのものを吸収し、4か月前に初めて会った時と比べると一回りもふた回りも成長したように感じられました。他のインター生の報告から学ぶこともたくさんあり、今後の自分の活動に生かしていく部分がたくさんあると感じたと同時に、もっともっとたくさんの活動にチャレンジしていきたいな、という気持ちになりました。

また、インター生同士の交流はもちろんですが、NPOで働く方々のお話を聞けたことも非常に自分にとって有意義な時間となりました。他のインター生や多くのNPOの皆さんと触れ合っていく中で自分の中で新たな気づきが生まれたり考えが深まったりと、自分にとってとても貴重な時間となったと思います。インターンシップ活動は残り半分となりましたが、今後も他のインター生と交流を続け、お互いに刺激し合い、また多くのことにチャレンジして自分自身の成長に繋げていきたいと思います。

岩手大学3年 大藤 百華（ピーちゃんリーダー）



先日、6月から行っていた長期インターンの中間報告会がありました。事前にこれまでの活動内容をまとめ、当日スライドを用いて報告を行いました。

インターンの宮古での活動は、月一回の野外活動をはじめ、キャンプや台風被害支援活動など、現地の方々と関わる機会を数多く設けていただきました。その中で感じたこと学んだことを報告することで、改めて自分の想いを心の中に落とすことができたように感じます。

まず、私はこのインターンをさせていただくにあたり、「復興の力になりたい」ということ、何に対しても“全力を尽くす”ということを目標に活動に臨んできました。

約4ヶ月が経った今、学んだことが3つあります。まず活動を通してプログラムを進める側の役割と視点を身に着けられたこと。また長期の継続的な関わりが、活動にも人間関係にも深く影響すること。そして目前にいる子どもや人々、状況に向き合い、目的を持って自分ができることを行う必要性を身をもって実感することができました。

今日は自分の学びを振り返り、また他のインター生の活動も見聞きすることができ、とても刺激になりました。さらに今後に向けて、決意を新たにインターン活動に取り組んでいきたいと思います。

岩手県立大学4年 川口 奈恵
(ショップリーダー)



てください！ 爆笑すること間違いなしですよ☆（あとで怒られそうですが…）

そしてビリケンは話すことや聞くことがとても上手です！ 活動ではみんなに面白い話をして楽しませてくれるし、みんなの話を聞いて盛り上げてくれます。そうしてグループの絆を深めて色んなことにチャレンジしています！ ビリケン自身多くの活動に参加してみんなを楽しませるために日々チャレンジしていて、1年生ですがとっても頼りになります。

そんなビリケンとまだ話したことがない！という人は、どんどん話して仲良くなってくださいね！！ 面白い話をしてくれますよ～！ 以上ビリケンリーダーの紹介でした。



↑ 左がマクスリーダー、右がビリケンリーダー。二人ともとても面白くてお茶目です！

